

[地域] [団体名]

庄内 藤倉山ブナ林保存会

団体紹介



[活動地] 鶴岡市三瀬地区 やまがた百名山 藤倉山

鶴岡市三瀬地区の農林業・水産業を支える藤倉山のブナ林の大切さを後世に引き継ぐために活動している。



「学習会に向けての環境整備」

●開催日：令和6年4月20日(土) ●活動内容：藤倉山の麓の水無集落内に3箇所登山口への案内看板を設置した。



「春の学習会・市民登山」

●開催日：令和6年5月5日(日) ●活動内容：参加者約60名(山形大学農学部留学生含む)が参加し、登山を行いながら学習会を行った。



「秋の学習会・市民登山」

●開催日：令和6年11月3日(日) ●活動内容：参加者約30名が参加し、登山を行いながら学習会を行った。



※以上の活動は「やまがた緑環境税」を活用して行いました。

活動を行っての感想

- 藤倉山の麓の水無地区に案内看板を増設し集落内で登山口に行く迷う車が見かけなくなった。
- 春・秋の学習会では、藤倉山のブナの林が雨を地中にため込み、その後湧き出た水が麓の三瀬地区の農林業・水産業に恩恵を与えている事を説明し参加者に改めて森林の大切さを感じて頂いた。
- 特に秋の学習会では今年の7月の豪雨でも藤倉山に源泉を持つ水無川は麓に被害を与えなかった理由を説明した。
- 水無川の上流には先人達が築いた9箇所の床止め(小規模の砂防ダムのようなもの)があります。その床止めのおかげで土石流も上流でせき止められ被害が出なかったことを説明し、いかに山や川を大切にすることがあるか知って頂いた。